



## 『狂蜜病中毒』事例

食物安全焦点      www.cfs.gov.hk      最近修订日期 2013-08-09      来源 :

-----  
香港の医学文献で友人が海外から購入した蜂蜜を食べた患者 1 名が『狂蜜病中毒』になったことが報告された。いったい、『狂蜜病中毒』とは何なのか？ 市民が蜂蜜を食用するとき何に注意しなければならないのか？

『狂蜜病中毒』は、グラヤノトキシンを含むハチミツを食べたことにより引き起こされるものだ。グラヤノトキシンは、(ツツジを含めた) ツツジ科植物が産出する神経毒素の一種で、神経や筋肉に影響を与える。中毒症状には眩暈や脱力感、大量の発汗、唾液過多、感覚異常、悪心、嘔吐などが含まれる。病状が重篤な場合には血圧の低下やショックが見られる。

一般的には、市民は一歳以下の乳児への蜂蜜食用を避けるべきだ。WHO もまた同じような見解であるが、その原因は蜂蜜にはボツリヌス症を引き起こすボツリヌス桿菌芽胞にある。

市民は、信頼できる出どころ或は養蜂場で蜂蜜を購入するようにすべきだ。グラヤノトキシンを含むハチミツを食用すると喉に焼けるような痛みが現れ、もしハチミツに苦み或は渋みを感じたら廃棄するようにせねばならない。

また、市民は可能な限りハチミツがどの種類の花から生産されたのかを知るようにすべきだ。なぜならば、海外ではトルコ黒海地域のハチミツに関連するグラヤノトキシン中毒例がこれまでも見られているからであり、当該地区に外遊する人たちは更に中医が必要だ。

[http://www.cfs.gov.hk/sc\\_chi/whatsnew/whatsnew\\_fst/whatsnew\\_fst\\_Mad\\_Honey\\_Poisoning\\_Case.html](http://www.cfs.gov.hk/sc_chi/whatsnew/whatsnew_fst/whatsnew_fst_Mad_Honey_Poisoning_Case.html)

..... 以下は中国語原文 .....

## “狂蜜病中毒” 个案

食物安全焦点      www.cfs.gov.hk      最近修订日期 2013-08-09      来源 :

-----  
最近有本港医学文献报告一宗患者进食了朋友从海外购买的蜂蜜后“狂蜜病中毒”的个案。究竟什么是“狂蜜病中毒”？市民在进食蜂蜜时又须注意什么呢？

“狂蜜病中毒”的起因是进食了含椴木毒素的蜂蜜。椴木毒素是一种由杜鹃花科植物(包括杜鹃花)产生的神经毒素，可影响神经和肌肉。中毒征状包括头晕、乏力、大量出汗、唾液过多、感觉异常、恶心和呕吐。病情严重者可能会出现低血压或休克。

一般而言，市民应避免给一岁以下婴儿喂食蜂蜜。世界卫生组织亦持相同意见，原因是蜂蜜可能含有引致肉毒中毒的肉毒杆菌孢子。

市民应向可靠的来源或养蜂场购买蜂蜜。含椴木毒素的蜂蜜进食时喉咙会有烧灼感，蜂蜜如带有苦味或涩味亦应弃掉。市民亦应尽可能弄清楚生产蜂蜜的花卉种类。由于海外曾出现与土耳其黑海地区的蜂蜜相关的椴木毒素中毒个案，前往该地区的外游人士应加倍注意。